



☆本紙のカラー版をホームページ「本郷ふじやま公園」にてご覧いただけます。

新春は伝統文化の受け継がれた古民家で「七草粥とお正月遊び」

秋はあっという間に過ぎ去り、ふじやま公園内の園路は瞬く間に落ち葉で埋め尽くされました。それをサクサクと踏んで歩くのがまた楽しいと来園者の声。今年もあとわずか。家々に新年の幸せをもたらし、初日の出と共に現れると伝えられる「歳神様」を迎えるため、長屋門には厳かな門松が立てられます。そして古民家には大凧の他にふじやま公園ならではの繭玉飾りが主屋いっぱいに飾られ、お正月の雰囲気を醸しだします。



ふじやま公園の新しい年の行事は「七草粥と正月遊び」から始まります。餅の入った七草粥を戴き、お正月明けの胃腸を休め疲れている身体も劳わりましょう。古民家の前庭ではお正月遊びを用意します。昔遊んだコマ回しや羽根つきなど、親子で楽しい思い出作りのスタートをきっては如何でしょうか。

★七草粥とお正月遊び 1月8日（日）11時30分～13時 古民家主屋及び前庭

- ・七草粥（餅入り） 100円 先着150名
- ・お正月遊び 歴史かるた 双六 羽根つき おはじき けん玉 コマ回し 竹馬など

★繭玉・大凧飾り 12月中旬～1月中旬

★門松飾り 12月28日～1月8日

★七草寄せ植え 12月中旬～1月中旬

長屋門のそばにあるチャの木が大きくなり、数も増えて、ミニ茶畠と呼べるほどになってきた。古民家の一角には茶葉の焙煎器が残されているし、公園のお隣、小菅ヶ谷には今も茶畠があるくらいだから、昔からこのあたりで盛んにお茶が作られていたのだろう。このミニ茶畠の様子では、来年にも茶摘みが出来そうだ。茜櫻（たすき）の茶摘娘というわけにはいかないだろうが、夏も近づく八十八夜…あたりが大いに楽しみになってきた。旨いふじやま茶が飲めるかも。



◆第15回古文書講座開催

11月9日あーすぶらざ会議室で恒例の古文書講座が行われました。開港資料館の斎藤司主任調査研究員から、小岩井家に20件以上残された御用留から文政4年と7年分を素材にして当時の村の様子の解説ありました。川越藩領に代わることによる年貢など諸手続き変更、雨乞い祈願、五人組帳提出、伊勢参り許可申請など日々の生活に関わる事項が満載でした。参加者は40人余り、質問が10件以上あり、予定時間を30分も超えた、充実したひとときでした。



註：御用留とは幕府・領主からの通達(御用)を村方で書き留めた文書。

◆古民家で江戸演芸を楽しみました。



栄区制30周年に協賛して古民家で江戸演芸を楽しむ会が11月27日に古民家主屋で開かれました。金原亭馬玉さんが落語を2席、翁家和助さんが太神楽を演じました。江戸時代の古民家を舞台にした江戸演芸を120人の観客が大いに楽しみました。



◆ポイントラリーが大盛況、お汁粉も人気！



栄区制30周年記念事業の本郷ふじやま公園散策路を巡るポイントラリーが12月4日古民家からふじやま頂上を巡る散策路で約60人が参加して行されました。ポイントでbingoやクイズがあり、散策しながら楽しんだり頭をひねったりしました。最後はお汁粉に舌鼓をうって締めくくりました。

昔の暮らし 肥後守 かつては子どもたちの宝物

肥後守(ひごのかみ)は、刃が折りたためる安全で機能性にすぐれた刃物です。日本特有のもので世代を超えて愛用され、特に子ども達にも人気を博しました。産地は肥後(熊本)ではなく一貫して兵庫県三木市です。発祥については明治初期、三木市の金物商が鹿児島・熊本で入手した刃物(刀子・小柄)を工夫・改良した結果、画期的な刃物が生まれました。元になったものに基づいて肥後守と名付けました。

肥後守の実用性を決定づけた最大の工夫は刃体の元に「尾」を付けたことです。この尾によって折りたたみ式の刃の出し入れが簡単になり、使用時には尾を親指で押さえ安定するようになりました。刃には伝統的な割り込み鋼を用い、切れ味が鋭く、大量生産により安価になり、鉛筆削りや竹細工に活躍しました。

少年に刃物を持たせない運動によって、子どもたちの手から肥後守は姿を消しました。皆さんの引き出しの片隅にあるかもしれません。





モミ マツ科

常緑針葉樹で日本固有種。北は秋田県から南は屋久島に分布する。樹皮は茶色がかり高さ40mにも達する。樹径は1mと大木になる。葉先は2~3cmの線形で鋭く尖る。球果は10~15cm、初め緑色から秋に成熟すると灰褐色になり松かさのように落下する。種子はリスなどの好物。日本ではクリスマスツリーの木として幼木のモミが主に使用される。当園では数少ない貴重なモミの樹。



『ウォーキングで健康的に街歩き 40か所のスタンプウォークラリー』

栄区制30周年記念事業「もっと栄が好きになるウォーカラリー」の感謝コースの第5に「本郷ふじやま公園」があります。栄区の魅力満載40のひとつとして、里山と江戸時代後期の名主の屋敷（旧小岩井家住宅）では、古民家の魅力を味わっていただけるよう、元気にウォーキングされるみなさんをふじやま公園のスタッフが温かくお迎えしています。

本事業の開催期間は、12月26日(月)までですが、ふじやま公園では、よこはまウォーキングポイント事業の歩数に応じてポイントがたまるリーダーも設置しています。

この機会にぜひ、古民家の魅力に触れていただけるようお待ちしています。



『いろり辺雑記』 から (原文のまま)

11月初めてきました。水琴窟がとってもきれいな音でした。部屋には見たこともないものがたくさんありました。また来たいと思いました。



(市内 10代 家族で)

平成29年1月度ボランティア活動予定

部会・事項	日 程	部会・事項	日 程
事務局会議	6日(金)	古民家歴史部会 部会	8日(日)
農芸部会 部会 作業	16日(月) 月曜日 木曜日	古文書解読勉強会 歴史探訪	休みます 休みます
里山部会 作業	14日(土) 17日(火) 21日(土) 29日(日)	クリーンアップ	17日(火)
工作棟部会 部会 子ども工作準備	11日(水) 適時	広報部会 ふじやまだより編集会議 印刷 ホームページ制作打合せ	10日(火) 13日(金) 12月27日(火)
囲炉裏守 囲炉裏焚き	当分の間 休みます		

登録ボランティアを募集しています。公園事務所(TEL 045-896-0590)へご連絡ください。

体験教室のお知らせ

手づくりをお楽しみ下さい。お待ちしております。

教室名	日 時	内 容	参加費	応募期限
子ども工作	1月15日(日) 10時～11時 〃 13時～14時	ストローと紙筒で笛作り。 (小学生)	無料	当日先着順 各10名
初心者茶道 体験教室	1月21日(土) 13時～16時	四季を感じながらおもてなしの心を学びましょう	500円	12月22日(木) 5名
フラワー アレンジメント	1月24日(火) 13時30分～15時30分	バレンタイン	2,000円	1月12日(木) 8名
伝統工芸 「鎌倉彫」を彫る (全3回)	2月5日(日) 13時～16時 2月12日(日) 〃 2月26日(日) 〃	平皿に「椿」を彫る	2,000円	1月25日(水) 8名
絵手紙 (全4回)	2月14日(火) 13時～16時 2月21日(火) 9時～13時 3月14日(火) 13時～16時 3月21日(火) 9時～12時	はがき絵の基本を学び実際に 書いてみましょう	600円	1月31日(火) 12名
布ぞうり作り	2月24日(金) 10時～15時	一日で一足完成します	700円	1月31日(火) 12名

(1)応募要領：往復はがきに、教室名、氏名（ふりがな）、郵便番号、住所、電話番号を書いて
応募期限までに**本郷ふじやま公園へ**

(2)応募者多数のときは抽選 (3)持参品：返信はがきで連絡します。

・・・お知らせ・・・

★工作棟体験教室の作品展示

工作棟「楽しい教室」の1年間を振り返って作品を展示します

展示期間：12月11日(日)午後～24日(土)午前

展示場所：JR本郷台駅前駐輪場展示スポット

展示する体験教室：子ども工作、布ぞうり作り、布細工、デコパージュ、絵手紙、押し絵、
創作人形、篆刻、フラワー・アレンジメント、七宝焼 の10教室



★公園内のクヌギ、ケヤキ、ナラなどの落葉を集めて腐葉土を作ろう(11月号でお知らせ済み)
約1年かけて腐葉土にします。出来上がった腐葉土は秋に、参加された方に差上げます。

日 時：1月14日(土) 10時～11時半 雨天の場合は翌15日 時間は同じ。

集合場所：長屋門

定 員：15名 小学生以下は保護者同伴、作業しやすい服装で。

申 込 み：往復ハガキで、締切：1月6日(金) 応募者多数の場合は抽選。

★11月ふじやま公園来園者数 11月度来園者数 2,313名 28年度累計 14,781名

- ・開館時間：9時～17時
- ・入館料：無料
- ・年末年始 休館日：12月29日(木)～1月3日(火)
- ・定例 休館日：毎月第1水曜日(1月4日)
- ・クリーンアップ：毎月第1・3火曜日 10時～11時(1月17日)

本郷ふじやま公園運営委員会

〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20

TEL : 045-896-0590

FAX : 045-896-0593